

ライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医の

カルテ



86



ハニーアニマル
クリニック院長
(富山市)
西尾 洋介

3月になり富山にも少しずつ春が近づいてきました。暖かくなると散歩に出かける機会も多くなるのではないのでしょうか？そこで気を付けていただきたいのがマダニやノミです。暖かくなるとマダニやノミの活動も活発になります。

マダニとノミ



マダニやノミを予防する処置を受ける猫

が皮膚の中に残ってしまい化膿することもありますので、動物病院で処置を受けましょう。マダニはペットだけではなく人にも多くの病原体を媒介します。ペットでは貧血、皮膚炎、犬バベシア症、SFTS（重症熱性血小

板減少症）など、人ではライム病、日本紅斑熱、SFTSなどを起こし、重症化すると死に至ることもあります。SFTSは感染したペットから人への感染も報告されています。

ノミも散歩中に草むらで寄生しますが、それ以外に野良猫や外に出る猫がノミの卵を敷地内に持ちかゆみを起こし、細菌や寄生虫などの病原体を媒介します。ペットでは貧血、ノミアレルギー性皮膚炎、瓜実条虫症（サナダムシ）など、人ではノミ刺咬症、瓜実条虫症などを起こします。

草むらで寄生 予防が大切

非常に困るのは温度、湿度とも保たれやすい現代の気密性の高い家の中で、ノミが卵から成虫になり大繁殖してしまうことです。ゴマ粒ほどの大きさの目に見えていないノミはわずからずほどで、残りの95%は卵、幼虫、さなぎの状態です。

ノミは刺すことによって激しい下するタイプ、犬には猫と同様に滴下するタイプと食べるタイプの薬があり、しっかりと駆除、予防することが出来ます。詳細はかかりつけの動物病院でお尋ねください。

狂犬病の予防接種や犬フィラリア症の予防も大切です。ぜひお忘れなく。病気になる前にしっかり予防することも優しいことですね。さあ、準備万端で安心して散歩に出かけましょう！